

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 10日		～ 2025年 12月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年 12月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	2025年 11月 10日		～ 2025年 12月 19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育の質の高さ。	お子様の問題行動や発達に関わる問題等に対して間接的な対応だけでなく、直接的な対応を行っている。学校での様子を観察・考察・報告を行い事業所の支援に役立てている。	専門的な知識・観察・評価の質を上げることで療育の質の向上に繋がると考えるため、「療育全体の学問としての学び」と「『人を知る』ための他分野からの学び」が必要なのでスタッフ全員がひとりひとりを考えながら社会参加できるようにしている。
2	軽度・重度に関わらず、社会に出る時のことを考えた支援。	幼少期から社会に出た時を考えた支援をしている。事業所内の集団の中での関わりと学校生活の中での人との関わり方、両方を知ることで更に質の高い支援を目指している。	幼少期から保護者様と協力し、丁寧に育ててきた児童が社会で崩れないように、サポートできる仕組みを準備中。また児童同士で集まれる場所作りも計画中。
3	未就学児から卒業まで連続した計画的な支援を行う。	当事業所では短期的な支援だけでなく、長期的な支援を念頭に置きながらお子様に関わらせていただいています。「今」必要な支援を行うことはもちろんのこと、地域との繋がりも大切にしながら社会参加に向けた支援を積極的に行っている。	現在行っている幼稚園や学校の訪問支援をさらに強化し、日常的な連携を今まで以上に深めて、社会参加に繋げていければと思っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	西宮市全域（北部を除く）に送迎に出ているため、送迎希望者が多くご希望に添えない場合がある。	自動車の台数や運転ができるスタッフも限られている。送迎をご希望される保護者様が年々増えている印象があるため、見学時に送迎状況を確認しておく。	送迎担当のドライバーさんが在籍しているものの、運転ができるスタッフを増やすことも検討していく。
2	療育をメインにした多機能型の事業所のため、事務にあてる時間が少ない。	児童が来所していない時間が限られているため、事務に回す時間を作るのに計画性が必要。なるべく残業ではなく業務時間内に作成すべき資料は完成させる。	システムをうまく活用し、効率の悪い作業を見つけ出す。その場合、放蕩に改善が必要か検討する。
3	多機能型のため長期休みで1日利用を希望されるご家庭にご不便をおかけしている。	就学時は特に長期休み中は、家庭で過ごす時間が増えてしまうため、場合によっては長期休暇中の過ごし方についてアドバイスする場合もある。	短時間でも質の高い療育を提供することで「毎週しっかり通わせたい」と思っていたいただけるようなサービスを提供する。